

10月19日（土）第25回科学研究大会が長崎大学で行われ、活水高校科学部は優秀賞をいただき、12月に行われる九州大会に参加することが決定しました。

当日は、

「ドライアイスを用いた気象現象のモデル実験」

①長崎市内に発生する霧及び逆転層

②高気圧、低気圧（台風）の発生

というテーマで発表を行いました。



少し緊張しましたが、上手に発表することができました。

この発表を行うために、科学部は長崎地方気象台で、霧発生のしくみを教えていただき、過去10年間に霧が発生した日の気象データをいただきました。また、福岡で観測されている上空の気象情報（ラジオゾンデ）をいただき、読み取り方を教えていただきました。



また、現業室も案内していただきました。滞在中には波浪注意報も発表されました。3枚目の写真に写っているコンピューターには、その時新潟県で発生した震度1の地震の情報がきていました。

現像室には、多くの画面があり24時間体制で気象のようすを観測されていました。

気象台の皆様、お忙しい中

ありがとうございました。

